



西前小だより

横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>



そな うれ 備えあれば憂いなし

がっこうちょう すがい ひろゆき
学校長 須貝 広幸

先日、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、延び延びになっていた総合防災訓練を実施しました。訓練中、子どもたちは真剣に避難時の約束事を守って訓練に取り組むことができました。子どもたちが在校時に地震やそれに伴う津波、火災が発生しても安全に避難できることでしょう。

しかし、子どもが学校にいる間に災害に合う確率は2割ほどです。後の8割は、在宅中か外出中ということになります。

阪神淡路大震災は、平成7年1月17日午前5時46分、まだ多くの方が眠っている時間に発生しました。この地震は、淡路島北部を震源として発生したマグニチュード7.3の地震で、死者行方不明者は6434名、負傷者43792名という大災害となりました。その被害状況は、日本中はもちろんのこと世界に衝撃を与えました。1月17日の防災の日は、この災害の教訓を忘れないで後世に残そうと制定されたものです。

東日本大震災は、平成23年3月11日午後2時46分に発生しました。低学年は下校途中、中学年以上は6時間目の授業中の時間帯です。この地震は、宮城県沖を震源として発生したマグニチュード9.0の巨大地震でした。死者約15899名、行方不明者2529名。津波により多くの命が奪われました。

記憶に新しいところで被害が大きかったのは、平成28年4月14日午後9時26分に発生した熊本地震です。子どもたちは就寝時間帯です。この地震では震度7の地震が2回、震度6強の地震が2回、6弱の地震が3回発生し、死者161名、負傷者2692名という記録が残っています。

国はもちろんこと、各市や区、学校等には地震が発生した時に備えて防災計画が作成されていますが、大きな災害があるたびに、「想定外」という言葉を耳にします。そして、そのたびに防災計画が見直されてきました。でも、また想定外のことが起こる可能性は高いと思われます。

地震に備えて私たちにできることには限りがありますが、やればできることもやっていないということはないでしょうか。地震が発生したときの火の始末などの役割分担、家族がバラバラになったときに落ち合う場所などについて家族で話し合い決めている家庭はまだ少ないようです。一旦大きな被害を伴う地震が起こってしまうと携帯電話は役に立たなくなってしまいます。普段から定期的に防災について話題にし、非常時の行動や約束事を確認しておくことが大切です。

この機会に、地震発生時の役割分担（火の始末等）、はぐれた場合の集合場所、近隣の危険箇所等を決めたり再確認したりしてはいかがでしょうか。

備えあれば憂いなしです。